

釧路市道路付属物個別施設計画 (横断歩道橋・門型標識)

令和4年 10月

令和8年 8月 改訂

釧路市都市整備部

目 次

1. 計画対象施設の現状と課題
2. 健全度の把握に関する基本方針
3. 日常的な維持管理に関する基本方針
4. 老朽化に関する基本方針
5. 新技術に関する基本方針
6. 費用縮減に関する具体的な方針
7. 対象施設の概ね次回点検及び修繕内容・時期

1. 計画対象施設の現状と課題

(1) 現状と課題

令和4年9月現在、釧路市が管理する横断歩道橋は1箇所、門型標識は1箇所です。建設後の経過年数は、横断歩道橋が55年、門型標識が14年となり、定期的な点検による状況把握、点検結果に基づく対策が必要です。

(2) 計画対象施設

計画対象施設の諸元は下表のとおりです。

【釧路市 横断歩道橋・道路付属物一覧表】

構造物の諸元						
施設名	路線名	建設年	施設長	幅員	所在地 (起点側緯度)	所在地 (起点側経度)
旭横断歩道橋	久寿里橋通	1967	46.7	1.5	42.986944度	144.388889度
道路標識	星が浦西通1	2008		30	43.012222度	144.308055度

2. 健全度の把握に関する基本方針

管内の道路付属物の特性、現状についての情報をもとに、近接目視による5年に1回の定期点検を実施し、診断結果の健全性をⅠからⅣまで区分けすることで、対策の必要性を明確にします。

3. 日常的な維持管理に関する基本方針

日常パトロール及び維持工事を行うことにより、日常的な維持管理を実施します。

4. 老朽化に関する基本方針

予防保全型の管理を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

5. 新技術の活用方針

点検や修繕を効率的に行うため、新技術の活用を積極的に検討します。

6. 費用縮減に関する具体的な方針

【横断歩道橋】

令和9年度までに実施する点検や修繕について、管理する1橋に新技術を導入することにより、20万円のコスト縮減を目指します。

なお、老朽化が進み架替えが必要となる場合には、地域の実情や利用状況等を考慮し、更新または撤去の検討を行い、維持管理コストの100万円程度縮減を目指します。

【門型標識】

令和9年度までに実施する点検や修繕について、管理する1施設に新技術を導入することにより、20万円のコスト縮減を目指します。

なお、集約化・撤去の検討を行った結果、管理する施設数が1つであることや、施設が位置する路線における交通利用者の安全・円滑な走行を目的に設置しているため、実施は困難である。

7. 対象施設の概ね次回点検及び修繕内容・時期

下表のとおりです。

釧路市道路付属物個別施設計画一覧表（横断歩道橋）

施設諸元				点検結果及び点検計画			修繕計画			
施設名	路線名	架設年度	橋長 (m)	点検年度	判定 区分	次回 点検年度	対策内容	着手 (予定)年度	完了 (予定)年度	全体概算事業 費(百万円)
旭横断歩道橋	久寿里橋通	1967	46.7	2021	Ⅲ	2026	集約撤去	2027	2028	20

釧路市道路付属物個別施設計画一覧表（門型標識）

施設諸元				点検結果及び点検計画			修繕計画			
施設名	路線名	設置年度	道路幅 (m)	点検年度	判定 区分	次回 点検年度	対策内容	着手 (予定)年度	完了 (予定)年度	全体概算事業 費(百万円)
道路標識	星が浦西通1	2008	30	2021	I	2026				

※健全度判定区分凡例

- I・・・構造物の機能に支障が生じていない状態
- II・・・構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
- III・・・構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
- IV・・・構造物の機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

●事後保全型：損傷が大きくなってから対策を行うため、工事規模が大きく多大な費用が必要になります。

●予防保全型：損傷が小さいうちに対策を行うため、施設寿命が長くなり修繕費用を最小限に抑えられます。

●ライフサイクルコスト（LCC）：供用期間内に発生する全ての対策費用を合計した費用を言います。この費用が低くなるような管理を実施することで、長期的な視点で経済的な管理を実現できると言えます。